

合奏等における感染防止対策

<仙台ニューフィル>

・合奏実施の判断

- 市民センター等の会場から活動の自粛要請があった時は活動を休止する。ただし、突発的な感染拡大が発生した場合は、行政等の判断を待たずに活動を休止する。

・合奏に臨む前に

- 発熱、咳・くしゃみ等の症状があるときは参加しない。当日発熱していなくても、練習日前数日間に発熱が確認された場合は参加を自粛する。

・会場での留意事項

- 会場に入る前に、手指消毒剤で除菌する。（市民センターで用意する分とは別途、団でも消毒剤を用意する。）また、ホール入室前、準備後、休憩時、片付け後は手洗いを心がける。
- 会場では3密にならないよう心がける。

・合奏時の留意事項

- 演奏者の間隔を開けて席を配置する。
- 休憩時には窓を開けて換気する。
- 演奏中、指揮者、弦・打楽器奏者はマスクを着用するよう配慮する。
- 管楽器奏者も演奏時以外はマスクを着用するよう配慮する。
- 管楽器奏者は吸水性シートなどを持参し、飛沫対策や楽器からの水滴を周りに拡散しないよう各自対応する。モップがけは管楽器エリアの全てを行う。

・各パートの対応

- 各楽器の特性に合わせた感染防止対策を行う。